

令和 6 年度

第 3 回 那須町総合教育会議 会議録

那須町教育委員会

## 令和6年度 第3回那須町総合教育会議録

令和7年2月13日15時30分から、令和6年度第3回那須町総合教育会議が開催され、その結果は次のとおりであります。

### 1 本会議の出席者は次のとおりであります。

#### 町長部局

町長	平山 幸宏
総務課長	池沢 秀勝
財政課長	齋藤 憲彦

#### 教育委員会

教育長	平久井好一
教育委員	菊地 厚子
教育委員	大森源一郎
教育委員	菊地 昭一
教育委員	金田裕美子
学校教育課長	島村 育男
生涯学習課長補佐	相馬さおり (課長代理)
こども未来課長	渡邊 誠
学校教育課長補佐	赤羽根初美
学校教育課指導主事	増子 智和
学校教育課主任主査	佐藤 英樹

### 1 本会議の議事は次のとおりであります。

#### 協議事項

- (1) 那須町の学校の在り方検討について
- (2) その他

## 1 開 会

島村学校教育課長

定刻となりましたので、ただ今より令和6年度第3回那須町総合教育会議を開催いたします。会議の終了時刻は17時といたしますので、ご協力をお願いいたします。

なお、今回より財政課長が出席いたしますことをご報告させていただきます。

齋藤課長、どうぞよろしく申し上げます。

それでは、はじめに、平山町長よりご挨拶をお願いいたします。

## 2 あいさつ（平山町長）

皆さま、こんにちは。本日はお忙しい中、令和6年度第3回那須町総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

はじめに、日々子どもたちの健やかな成長のためにご尽力いただいている教育委員の皆様、心より感謝申し上げます。

過日開催しました「第7回プレゼンフェスティバル in 那須」では、「ふるさとの魅力・ふるさとの課題」や「プログラミングが変える私たちの未来」をテーマに小学生から大学生までの20組82名が参加してくれました。参加者は、観覧される方へ伝わりやすいよう、プレゼン資料に様々な工夫を凝らし、身振りや手振りを交えて堂々と発表してくれました。発表までには、たくさんの打合せや資料作成、発表練習を行い、当日を迎えたことと思いますが、本町の子どもたちの成長ぶりには感銘を受けました。

社会の変化に伴い、教育に求められる役割も多様化していますが、本町の教育の方向性は正しいと再認識したところです。

早いもので、今回は、今年最後の会議となります。

本日は、那須町の学校の在り方検討について忌憚のない意見交換を行いながら、町長部局と教育委員会が共通の認識をもって、那須町の教育をより良い方向に進めて行ければと思っておりますので、どうぞ、よろしくをお願いいたします。

島村学校教育課長

それでは、協議事項に移らせていただきます。

那須町総合教育会議設置要綱第4条第1項により、町長を議長として進めさせていただきます。

平山町長、よろしくをお願いいたします。

## 3 会議録の承認

議長：平山町長

それでは、本会議を主宰する立場から議長を務めさせていただきます。

円滑な議事運営に努めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

はじめに、会議録の承認について学校教育課長より説明をお願いします。

島村学校教育課長

総合教育会議の会議録は、那須町総合教育会議設置要綱第7条において、公表することになっております。

令和6年度第2回那須町総合教育会議の会議録について説明させていただき、公表について承認をいただきたくお願いいたします。

会議録に沿って説明

議長：平山町長

ありがとうございました。

ここで、5分程度、お時間を取りますので、会議録の内容についてご確認をお願いします。

～内容確認～

それでは、会議録について、ご意見やご質問などがございましたら、お願いいたします。

菊地(厚)委員

会議録内容については問題ありませんが、総合教育会議での協議内容については、協議するだけで終わらせるのではなく、ぜひ町の教育施策に反映していただきたいと思います。

平久井教育長

今年度は総合教育会議において、町の保育の現状と課題についても協議させていただきました。協議の結果、保育現場での課題把握にもつながり、早急に課題解決に至ったものもありました。

本町は子育て支援に関するこども未来課を教育委員会に組織しています。子どもたちへの教育は、次代を担う子どもたちがたくましく生きていく中で、重要な役割を担っていることから、今後も機会がありましたら総合教育会議で取り上げていただきたいと思います。

教育委員の皆さんは全ての町立保育園、私立保育園、私立幼稚園を視察してきました。

今後も幼児教育の充実に向けて視察等を実施し、その上での御意見をいただきたいと思っております。

議長：平山町長

会議録の修正をお願いします。

協議事項に移る部分については、町長欠席に伴い副町長が代理出席し議長になっていることから、補足して分かりやすく修正して下さい。

島村学校教育課長  
補足いたします。

議長：平山町長  
ご確認をいただきまして、ありがとうございました。  
それでは、会議録について承認をいただけますか。

全出席者  
承認する。

議長：平山町長  
ありがとうございました。

#### 4 協議事項

議長：平山町長  
それでは、協議事項に入ります。  
(1)那須町の学校の在り方検討について、学校教育課より説明をお願いします。  
説明後に、皆さまからのご意見を頂戴したいと思います。

～学校教育課主任主査説明～

議長：平山町長  
ありがとうございました。  
それでは、ご意見、ご感想などがございましたら、お願いいたします。

菊地(厚)委員

学校の在り方については、4月から教育委員で検討を進めてきました。その検討内容を元にしてこの資料が作成されたものと思いますが、再度、検討をしたいと思います。

那須町は今まで何をしてきたのか、那須町の学校や保育園を視察すると現場の状況がよく見えてきます。那須町は素晴らしい環境で、給食の匂いもするし自校給食の良さもあります。那須町の良さとして魅力を出せるのではないかと思います。作っている人の顔が見える給食と見えない給食のどちらを取るのか、検討委員会で検討していただくための教育委員からの意見をまとめさせていただきたいと思います。

教育は大きな問題であります。那須町のこれまでの教育の素晴らしさを土台にして、今後どのように転化するのか。

学園構想は非常に大切なものですので、丁寧に検討を進めて欲しいと思います。

#### 大森委員

簡単にはいかない問題だと思います。時間をかけて町民との話し合いが必要だと考えます。

教育委員としては那須町全体の教育を考えたいと思っております。学校を減らすのではなく町全体の学校を使った教育も良いと思います。

文化が発達すればするほど欠けていくものもあると思います。心の教育が欠けてしまうのではなく、子どもたちにいろいろな体験をさせてあげたいと考えております。勉強そのものは目的ではなく過程であり、子どもの人間性、心の深さを学べたら良いのではないかと思います。町全体で子どもたちを育てる環境づくりができれば良いと考えております。統廃合での成果はコミュニティ・スクールであると思っており、町全体で一つの学園として存続させたり、子どもたちの心の教育に力を入れたりできれば良いと思っております。そのために、少し時間をかけて町民の意見を吸い上げて欲しいと思っております。

#### 金田委員

町の学校の在り方については、この問題を考える前提にあたって「何々はできない」というマインドを取り除く必要があると思います。校舎や給食室をどうするのか、財政が厳しくできるはずがない、できないと言っていたら何もできない、ではどうすればできるのか考える必要があります。

町にはお金をかけずに戦力になるものがあると思います。第1は自然ですが、ブランディングされていないと思います。第2は美味しいものです。お土産物や特産物はブランディングされていますが、地域おこし協力隊員が移住フェアを行ったところ、移住希望者は那須町にたくさん集まってくるファミリー世帯が多く、質問は「教育について」が多かったようです。那須町はどのような教育に力を入れているのか、町の教育とは何か、質問を受けた地域おこし協力隊員は移住希望者にしっかりと説明できなかつたようです。那須町のグランドデザインがなされていない中で教育だけを考えていくのはどうなのか、良い町だが特色がない町とも映るのではないかと思います。何に力を入れているのか分からない状態では大変もったいないことです。

町のグランドデザインを作る中でどの教育が唯一無二になるのか検討する必要があると思います。

那須っ子にヒヤリングした結果、学校給食の話題になるそうで、「那須町の自校給食は珍しいね」「私の町はセンター給食だったよ」と、羨ましがられるようです。また、自校給食は町の特色になるのではないかとの意見もあったようです。ただし、財源も厳しい中で、自校給食をセンター給食にしたからといってデメリットが及ぶわけでもありません。仮に給食室を削減した場合、子どもたちのアイデアを具現化するための財源に使うて欲しいと思っております。町長は、町の教育についてどのように考えておられるのですか。

#### 議長：平山町長

私が一番やりたいことは教育です。本町の地域おこし協力隊は、人数では県内で最も多く

活用しています。茂木町では、地域おこし協力隊による公営塾を運営しているようです。

町は消滅可能性自治体から脱却しましたが、特色ある教育や、おむつの無料券配布、18歳までの医療費無料などの町の子育て支援の充実について、PRが不十分であるところもあります。那須周辺地域全体でのPRも必要であると思います。

これから、祖父母が住んでいる那須町に都心等に住む孫が留学できるような環境づくりを実施したいと考えております。かわいい孫の留学は祖父母の健康寿命の延伸にもつながると思います。

また三世代で遊びに来てもらえるような環境づくりも実施したいと考えております。例えば、祖父母は温泉や歴史巡り、親は登山などのアクティビティ、子どもたちはレジャー施設というように、これは日本だけでなく海外にも発信していきたいと思います。そのためには担当同士の連携が必要になります。

全国町村会議では那須町はすごいとお褒めの言葉をいただきますが、担当を超えてのPRにつながっていないのが現状です。皆さまのご意見を肝に銘じて取り組みたいと思います。

金田委員

教育をメインに取り組みたいということですが、伊王野保育園は寒い、絵本も買えない、そんな限られた予算の中で先生方が工夫をしつつベストを尽くしている状況です。財政が厳しくてもやらなくてはいけないものだと思います。町長が目指される教育について知見を集めて取り組んでいただきたいです。そのためにも、教育に向けた財源確保に努めて欲しいと思います。

議長：平山町長

できることから取り組む必要があると思います。保育園の実情については、把握できておらず大変申し訳ありませんでした。

更に現場に足を運び、必要なものについて予算確保に繋げて行きたいと思います。担当には更に現場を見て報告して欲しいと思います。

大森委員

町の教育について、町はどのように考えているのでしょうか。子育てしやすい町づくりに向けては幼児教育に力を入れる必要があると考えます。町には素晴らしい自然がありますが、人口減少による空き家対策をどうするのか、学校では特色ある学校運営がなされていますが、町の方針が分かりづらいと思います。

議長：平山町長

今後の10年先を見据えて検討する必要があると思います。前回の学校統廃合では、学校維持費を減少させて子どもたちの費用に充てられればとの思いがありましたが、結果として費用は減少していないのが現状です。

千振保育園は自然豊かな環境での保育園として残す予定であります。距離で選ぶのではなく教育内容から選ばれるように考えていかないと移住につながる人口増は見込めないと思います。

給食は空腹を満たすだけのものではなく、五感で感じて欲しいと思います。

大森委員

先進地視察は必要なので、機会を作って欲しいと思います。

金田委員

伊王野保育園の状況についてはぜひ、財政課長に視察していただきたいと思います。

議長：平山町長

本購入については、大田原信用金庫や那須信用組合から寄附も頂戴しているので、それを活用したいと思います。

子どもたちの発表の具現化に向けた予算確保は必要であると思います。

大森委員

プレゼンフェスティバルにおいて発表内容について実現に向けて検討しても良いのではないかと思います。

菊地(昭)委員

叶えられる夢だけじゃなくても良いと思います。

金田委員

町の課題解決に向けて子どもたちが検討してくれています。ぜひ、子どもたちの夢を具現化していただきたいと思います。

菊地(厚)委員

町の子どもたちは育っており、フェーズは変わり第2段階になっていると思います。実現に向けた町の動きによって町の魅力にもつながると思います。

これからの教育の検討には、子どもたちの声を反映して欲しいと感じています。テーマに沿った熟議からの意見を検討委員会に反映させて欲しいと思います。

議長：平山町長

子どもたちの意見を反映させることは重要であると思います。

それでは、時間も限られておりますので、以上で意見交換を終了とさせていただきます。

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

いただきましたご意見等については、今後の那須町の学校の在り方検討に向けて参考とさせていただきます。

それでは、次の協議とさせていただきます。

議長：平山町長

次に（２）その他について、各課より何かありましたら、説明をお願いします。

各課長

ありません。

議長：平山町長

無いようですので、以上で、議題に関する協議は終了いたします。

貴重なお時間をいただき、充実した会議となりましたことに、お礼を申し上げます。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

それでは議長の任を解かせていただきます。

## 5 その他

島村学校教育課長

それでは、その他に移りますが、皆様から何かございますか。

全出席者

ありません。

島村学校教育課長

無ければ、これをもちまして協議事項はすべて終了させていただきます。

## 6 閉会

島村学校教育課長

閉会にあたり、教育委員を代表して平久井教育長よりご挨拶をいただきます。

平久井教育長

今年度最後の総合教育会議において、那須町の学校の在り方検討について、協議をさせていただきました。この一年間、これからの那須町の教育を検討する前に教育委員の皆さんにご意見をいただきました。皆さんからのご意見をまとめますと今までの150年続いている一斉授業は卒業し、子どもが主役のPBL「問題解決型学習・課題解決型学習」やイェナプランなど、いわゆる自由進度学習へと舵を取り、学習指導要領にある「個別最適な学び」や「協働的な学び」へと転換していく必要があると思います。

現在、町が取り組んでいる縦に一貫教育、横にコミュニティ・スクールの取り組みでは、随所

に成果が出始めています。

今後も、町の持つ資源を有効活用することで、ハイブリッドな教育を目指せるのではないかと考えております。地域での子どもたちの活躍が、地域の一員としての子どもたちの活躍になり、地域づくりにつながっていくと思っております。

本日は貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

島村学校教育課長

以上で令和6年度第3回那須町総合教育会議を閉会といたします。

本日はありがとうございました。